



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年1月29日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,356	3.5	371	52.3	381	60.1	214	62.7
26年3月期第3四半期	12,908	△0.9	243	44.4	238	56.5	131	73.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年3月期第3四半期	10.24		—					
26年3月期第3四半期	6.29		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	12,959	3,751	28.9
26年3月期	12,057	3,475	28.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,751百万円 26年3月期 3,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	1.9	340	26.0	330	25.9	160	32.8	7.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	21,039,480株	26年3月期	21,039,480株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	77,004株	26年3月期	75,588株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	20,963,517株	26年3月期3Q	20,964,527株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により減少した鉱工業生産の回復が遅れ、実質可処分所得の目減りなどにより個人消費の持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、景気は弱含みで推移しました。当業界におきましては、消費者の節約志向が継続する中で、販売競争の激化に加え、原材料価格やエネルギーコストの上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、品質の向上と、市場動向やお客様のニーズに即した新製品開発に注力し、高付加価値製品の提案ならびに主力製品の育成と拡販に努めました。また、原材料費や光熱費の上昇を吸収すべく経営の効率化へ継続して取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、平成26年10月に、より高い品質を追求した「絹艶プレミアム」を新たに発売し、また同月より2ヵ月間に亘り展開した「絹艶10年目ありがとうキャンペーン」の活用によりブランドイメージの向上をはかった「絹艶」シリーズが好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。菓子パン部門は、「北の国のベーカリー」シリーズが好調に推移したことに加え、平成26年3月発売の「しっとりマルシェ」シリーズがお客様のご好評を得たことにより、堅調に推移しました。和菓子部門は、串団子の取扱拡大や季節商品の拡充をはかったことにより、前年同期の売上を上回りました。洋菓子部門は、チルド製品は伸長したもののロールケーキの売上が伸び悩み、前年同期の売上を下回りました。調理パン・米飯部門は、量販店向けの米飯が大幅に伸長しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は13,356百万円(対前年同期比103.5%)、営業利益は371百万円(対前年同期比152.3%)、経常利益は381百万円(対前年同期比160.1%)、四半期純利益は214百万円(対前年同期比162.7%)となりました。製品の品質向上に努め、付加価値の高い製品の提案および販売強化により売上拡大をはかり、各部門における業務の見直しなど全社的なコスト低減を進めたことにより増収増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は12,959百万円で前事業年度末に対し、901百万円増加しました。流動資産は4,663百万円で主に現金及び預金が341百万円、売掛金が466百万円増加した結果、前事業年度末に対し800百万円増加しました。固定資産は8,295百万円で前事業年度末に対し100百万円増加しました。負債合計は9,207百万円で、支払手形及び買掛金、その他の流動負債(主に未払消費税等)の増加により前事業年度末に対し625百万円増加しました。純資産合計は3,751百万円で前事業年度末に対し275百万円増加しました。利益剰余金が214百万円、その他有価証券評価差額金が61百万円増加したことなどによるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は28.9%、1株当たりの純資産は178円96銭となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、企業収益の改善や経済政策の効果により、景気は緩やかに回復していくことが期待されるものの、先行きは予断を許しません。当業界におきましても、消費者の節約志向が続く中で販売競争が激化し、また原材料価格の高止まりや電気料金の上昇により、厳しい収益環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、製品の品質向上をはかり、安全・安心でお客様に認められる価値の高い製品開発に努めてまいります。引き続き、生産・販売一体となった製品施策・営業戦略の展開により新しい需要の創造に取り組むとともに、一層の業務効率化を推進して収益向上をはかり目標達成に向けて努力してまいります。

なお、平成27年3月期通期に関する業績予想につきましては、平成26年10月28日に公表した内容から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更し、並びに割引率を変更いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ13,263千円減少しております。

### (2) 追加情報

表示方法の変更

(四半期損益計算書)

前第3四半期累計期間において区分掲記しておりました「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」は、第1四半期累計期間より「法人税等」に一括掲記することといたしました。これに伴い、前第3四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,606,616	1,947,751
受取手形及び売掛金	1,885,947	2,352,273
商品及び製品	41,912	19,843
仕掛品	31,770	36,829
原材料及び貯蔵品	125,019	170,356
繰延税金資産	77,912	45,392
その他	94,795	92,100
貸倒引当金	△977	△959
流動資産合計	3,862,997	4,663,588
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,379,433	1,430,532
機械及び装置(純額)	1,299,688	1,267,871
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	169,543	195,162
有形固定資産合計	7,511,071	7,555,971
無形固定資産		
その他	72,690	68,067
無形固定資産合計	72,690	68,067
投資その他の資産		
投資有価証券	417,900	509,394
投資不動産(純額)	87,907	87,839
繰延税金資産	49,868	26,710
その他	60,897	53,337
貸倒引当金	△5,664	△5,735
投資その他の資産合計	610,910	671,546
固定資産合計	8,194,671	8,295,585
資産合計	12,057,669	12,959,174

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,004,958	2,198,904
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	536,992	521,048
未払法人税等	84,717	79,488
賞与引当金	181,626	92,306
その他	865,500	1,252,637
流動負債合計	4,823,794	5,294,384
固定負債		
長期借入金	887,108	1,022,624
再評価に係る繰延税金負債	1,383,202	1,383,202
退職給付引当金	1,452,506	1,468,859
役員退職慰労引当金	34,210	34,263
その他	1,300	4,300
固定負債合計	3,758,326	3,913,248
負債合計	8,582,120	9,207,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△172,153	42,482
自己株式	△8,689	△8,884
株主資本合計	871,130	1,085,571
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,699	164,250
土地再評価差額金	2,501,718	2,501,718
評価・換算差額等合計	2,604,417	2,665,968
純資産合計	3,475,548	3,751,540
負債純資産合計	12,057,669	12,959,174

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	12,908,039	13,356,977
売上原価	9,260,921	9,470,764
売上総利益	3,647,118	3,886,212
販売費及び一般管理費		
販売費	2,863,616	2,961,068
一般管理費	539,788	553,964
販売費及び一般管理費合計	3,403,405	3,515,032
営業利益	243,713	371,179
営業外収益		
受取利息	126	138
受取配当金	7,376	8,742
受取賃貸料	5,556	14,895
受取保険金	6,559	8,684
その他	6,529	7,382
営業外収益合計	26,149	39,843
営業外費用		
支払利息	31,177	27,982
その他	176	1,269
営業外費用合計	31,353	29,251
経常利益	238,509	381,771
特別利益		
固定資産売却益	5,565	236
特別利益合計	5,565	236
特別損失		
固定資産売却損	-	183
固定資産除却損	8,322	22,816
減損損失	76	68
役員退職慰労金	2,304	902
特別損失合計	10,703	23,970
税引前四半期純利益	233,372	358,037
法人税等	101,431	143,401
四半期純利益	131,940	214,636

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。